

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】学校をめぐる近年の状況の変化と危機管理上の課題

クラスCD	ロ-212	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	学校をめぐる近年の状況の変化と危機管理上の課題	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	照屋 翔大 (てるや しょうた) 加藤 崇英 (かとう たかひで)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校をめぐる近年の状況の変化について様々な統計データ等を基に概観し、そのような変化が学校の在り方に及ぼす影響について検討する。 ・子どもの問題・課題が複雑化・多様化することに伴って拡大する学校危機管理についての視点と課題について明らかにする。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの抱える課題が複雑化・多様化している背景を踏まえ、学校をめぐる状況の変化とその課題について理解できる。 ・学校における危機管理の対象や範囲を踏まえて、視点と課題を理解できる。 		
受講者への事前連絡事項	本講習内容に関連したご自身の学校についての資料等を、ご負担の少ない範囲でご持参いただければ幸いです。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】学習指導要領の改訂の動向等

クラスCD	ロ-213	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	学習指導要領の改訂の動向等	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	佐藤 環 (さとう たまき)	所属	教育学部
主な受講対象者	幼・小・中・高教諭	担当時間	6時間
講習内容	現在行われている教育改革や義務教育多様化の潮流などを踏まえて、学習指導要領及び幼稚園教育要領改訂の特徴を明らかにして今後の学校教育課程について考察する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育改革や義務教育多様化の潮流などを踏まえ、現在学校教育の動向を考察できる。 ・学習指導要領の改訂の意義について理解できる。 		
受講者への事前連絡事項	特記事項なし。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】法令改正・審議会等の状況と「チーム学校」による組織的対応の考え方

クラスCD	ロ-214	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	法令改正・審議会等の状況と「チーム学校」による組織的対応の考え方	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	加藤 崇英 (かとう たかひで) 照屋 翔大 (てるや しょうた)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の内容に関わるものから、学校組織や教育行政・教育委員会に関わるものまで、とりわけ2000年代以降の法令改正及び国の審議会の状況等を中心にその展開を明らかにする。 ・近年の改革の中で直面する諸課題に対して「チーム学校」として対応する上での考え方と在り方について検討する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の教育関連の法令改正及び国の審議会の状況等の流れについて理解できる。 ・学校が組織として対応することが求められる背景と、「チーム学校」として対応していく視点と課題について理解できる。 		
受講者への事前連絡事項	近年の法令改正や審議会の状況等で分からないことや知りたいことなどを、事前にお考えいただければ幸いです。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教科横断的な視点からの教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組

クラスCD	ロ-215	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	40名

講習科目名	教科横断的な視点からの教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	坂場 克身 (さかば かつみ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>新学習指導要領で示された育成すべき資質・能力の3つの柱を育成するため、全ての教職員によるカリキュラム・マネジメントの充実が求められている。社会に開かれた教育課程及び教科横断的な視点から、カリキュラム・マネジメントについての理論と学校現場での具体的な取組について検討する。</p> <p>(1) 社会に開かれた教育課程とは何か (2) 教育課程とカリキュラムについて (3) 校務分掌のそれぞれの立場(教務主任・教科主任・担任等)から見たカリキュラム・マネジメントとは (4) 教科横断的な視点からのカリキュラム・マネジメントの理論 (5) 教育目標の具現化を目指した教科横断的な視点からのカリキュラムマネジメントについての実践 (6) 認定試験: 講義した内容の確認</p>		
到達目標	<p>(1) 社会に開かれた教育課程や教科横断的な視点からのカリキュラム・マネジメントについての内容やその必要性について理解する。 (2) 具体的なカリキュラム・マネジメントの方法について理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	各自学校グランドデザインを持参してください。適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育相談2

クラスCD	ロ-216	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	55名

講習科目名	教育相談の基礎	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	丸山 広人 (まるやま ひろと)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>さまざまな不応問題(不登校・いじめ・発達障害を中心とする)を対象にして講義する。まずはこれらの問題を予防する観点から講義を始め、その後、それぞれの問題に対する基本的な理解と対応について事例を交えながら考えていく。様々な学校種が入り交じったグループで事例を考えていく演習も取り入れた内容となる。</p>		
到達目標	<p>不応問題(不登校・いじめ・発達障害)における課題と対応の基本について理解することができる。</p>		
受講者への事前連絡事項	<p>特になし</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】キャリア教育

クラスCD	ロ-217	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	45名

講習科目名	現代キャリア教育理論と教育実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	望月 厚志 (もちづき あつし) 青柳 路子 (あおやぎ みちこ)	所属	教育学部 大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中・高・特支教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>キャリア教育の基礎理論と最新理論を紹介するとともに、わが国のキャリア教育の政策・施策についての理解を深める。また、教育実践事例について考察する。これらを通じて、今後のキャリア教育について考察を深める。</p> <p>1)現代日本社会のキャリアをめぐる諸問題。(講義) 2)キャリア教育の基礎理論の紹介。(講義) 3)キャリア教育実践事例の検討。(講義・演習・グループワーク) 4)今後のキャリア教育の考察。(まとめー講義)</p>		
到達目標	<p>1)キャリア教育の基礎と最新理論について理解する。 2)キャリア教育実践の方法論を考えることができる。 3)現代日本社会のキャリアをめぐる諸問題から今後のキャリア教育について考察を深める。</p>		
受講者への 事前連絡事項	資料及び映像資料を用いて講義・演習・グループワークを行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】道徳教育

※この講習を受講する方はハ-114、ハ-220、ハ-306を受講することができません。

クラスCD	ロ-218	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	65名

講習科目名	道徳教育の今日的課題と実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>道徳教育に焦点を当て、その今日的意義や実践の充実を図るための内容・方法等について検討する。今日の児童・生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育のもつ役割を理解するとともに、道徳教育の実践をより充実したものとするための実践上の課題、学校組織全体として道徳教育の実践の充実を図る上で求められる点等について検討する。</p> <p>(1)道徳教育の今日的意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における人間形成の在り方と課題 ・道徳教育の今日的意義と課題 <p>(2)道徳教育の実践の充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂と道徳教育 ・道徳教育の実践の充実と他の教育活動との関連 ・学校全体での運営・実施体制の充実 		
到達目標	<p>(1)子どもたちの規範意識や学ぶ意欲の低下、さまざまな問題行動の背景にある社会の問題を理解する。</p> <p>(2)現代社会を生きる子どもたちにどのような道徳教育を行っていくことが必要なのかを理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】国際理解教育及び異文化理解教育2

クラスCD	ロ-219	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	30名

講習科目名	多文化教育について考える:外国につながる児童生徒の現状と課題を通して	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	横溝 環 (よこみぞ たまき)	所属	人文社会科学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>外国籍や日本語指導が必要な児童・生徒は年々増加する傾向にあります。私たちは、文化的背景の異なる児童・生徒が安心して共に学び合える環境をつくっていく必要があるでしょう。そこで本講習では、まず、異文化コミュニケーションに関する基本的理論の中から、主にアイデンティティおよびステレオタイプ・偏見について学んでいきます。後半は、それらを踏まえた上で、外国につながる児童・生徒の現状と課題について、現場の方々とも考えていきたいと思っております。</p>		
到達目標	<p>(1)異文化コミュニケーションに関する基本的理論を自らの具体的経験と結び付けて理解することができる。 (2)他者の視点から物事を解釈することができる。 (3)外国につながる児童生徒の現状と課題を理解し、支援する際の心構えを身につける。</p>		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育の情報化2

クラスCD	ロ-220	開講日	8月19日(日)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	35名

講習科目名	教育の情報化Ⅱ	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	本田 敏明 (ほんだ としあき)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	学校教育における教育の情報化のこれからの課題について、文科省「教育の情報化に関する手引」の内容を基に講義し、また、授業で役立つ情報教育やICTを利用した授業の内容と方法について、実習を交えて検討する。		
到達目標	1)情報化社会における学校教育の変化と課題を情報教育の視点から理解すること。 2)新しい情報技術を利用した教育(授業)を構想し、指導する力量を培うことができる。		
受講者への事前連絡事項	パソコンによるワープロ、インターネットの使用経験があること。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。